みりょく再発見 ⑭

鐘落つるも輝き消えず　つりがね洞

漆黒の岩の向こう側、琥珀色の大洋が広がる

夫婦そろって黄泉の国へと渡るとき、浄土ヶ浜で待ち合わせ。２人で釣り鐘をついて、一緒に穴を通ろう。すれば、きっと極楽浄土へ行ける―。

景勝地として名高い小袖海岸の中でも最大の奇岩「つりがね洞」には、こんな言い伝えがある。

その昔、つりがね洞の穴の天井には大きな岩がぶら下がっていた。その様子はまるでお寺にある釣り鐘のようだったため、「つりがね洞」という名前がついた。この岩、明治29年の三陸大津波の直撃を受け、今はその姿を見ることは出来ない。

６月下旬、夏至の時期になると、このときしか見られない瞬間が訪れる。太陽が海から昇るとき、やがてその光がつりがね洞の穴を通過する瞬間である。その様子はまるで、釣り鐘の岩が再びわたしたちの前に姿を現したようにも見える。

穴から海をのぞくと、そこに広がる海は琥珀色に輝き、まるで極楽浄土のようだ。きっと、昔の人たちもこの光景を見て、感動したのだろう。だから、こんな言い伝えが残っているのだ。いつまでも残したい光景―。つりがね洞がある限り、そこに太陽が昇り続ける限り、この光景は後世まで残される「久慈遺産」となる。

編集後記

みりょく再発見の中ではちゃんと説明していませんが、これはつりがね洞の穴をアップで撮影したものです。北海道か青森県みたいに見えてきませんか？この写真は一眼レフカメラを使い始めて３カ月目に撮影したもの。露出が甘くて良い写真じゃないですが、お披露目してみました。（中村）

わがやのアイドル My Sweet Baby

垂柳蒼（あおい）くん（３歳）
（天神堂）垂柳末五郎さんの孫

田面大翔（ひろと）くん（８カ月）
（寺里）田面千之介さん、大澤昇さんの孫

未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、応募ください。詳しくは、広報くじ担当（内線250）。

PRINTED WITH SOY INK 植物油、大豆インクを使用しています
R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています

発行／久慈市　編集／総務企画部　〒028－8030　岩手県久慈市川崎町１番１号　☎0194(52)2111　印刷／㈲九戸印刷